

支部総会・支部講演会・懇親会

開催日

平成 29 年 6 月 25 日（日）

場所

学士会館 210 号室

[住所] 〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28

[電話] 03(3292)5936

[アクセス] 地下鉄都営三田線 都営新宿線 東京メトロ半蔵門線
神保町駅（A9 出口）徒歩 1 分

[URL] <http://www.gakushikaikan.co.jp/access/>

スケジュール

14:00～14:55 洛友会東京支部総会

15:00～14:55 洛友会本部総会

16:00～17:00 講演会

講師：京都大学大学院 情報学研究科 原田博司教授

演題：IoT 時代の無線通信システムの研究開発、標準化

17:00～18:30 懇親会

会費：

会員 5,000 円 同伴者 2,000 円

但し卒業 5 年以下（H24 年学部卒以降）の会員は無料、

また、平成 29 年 4 月 1 日現在で 75 歳以上の会員は 3,000 円

報告：

平成 29 年 6 月 25 日（日）、学士会館にて、東京支部総会、本部総会、講演会及び懇親会を開催しました。本部より長尾会長、佐藤事務局長を初め多数の来賓をお招きし、68 名の参加をいただき、例年にも増しての盛会となりました。

【支部総会】司会：福原総務幹事

【第一号議案】平成 28 年度行事・活動報告

・平成 28 年 6 月 26 日に、支部総会を開催し、長尾会長、荒木幹事長、佐藤事務局長をはじめ、多数の来客をお招きし、約 60 名の参加をいただき、例年通りの盛会となったことの報告がありました。平成 27 年度の活動報告／会計報告に加え、おぼろ会の解散、拡大クラス会の名前変更等が報告され、拍手を持って承認されました。また、講演会では、「高齢化社会で健康に生きる」と題して、聖路加国際病院 福井次矢院長からご講演いただいたことの報告がありました。

・平成 28 年 11 月 10 日に、秋の講演会を開催し、52 名の方にご参加いただき、JT 代表取締役副社長新貝康司様から、「JT の M&A 戦略～日本企業が世界企業に飛躍するために～」と題して、講演いただいたことの報告がありました。

・平成 29 年 2 月 24 日に若手交流会を開催し、京都大学東京オフィス会議室で、46 名の方にご参加頂き、独立行政法人宇宙航空研究開発機構の前理事長 立川敬二様をお招きし、「NTT におけるビジョン策定と JAXA における経営改革」と題して、ご講演いただいたことの報告がありました。

・平成 29 年 4 月 7 日に春の見学会を開催し、23 名の方にご参加いただき、東京都立川市にある国立極地研究所を訪問したことの報告がありました。

・平成 29 年 4 月 22 日に第五回京都大学同窓会東京支部連絡会議および交流会が開催され、交流会では、大石久和 土木会東京支部長から、「日本人とインフラ」と題して、講演いただいたことの報告がありました。

〔第二号議案〕平成 28 年度決算報告および監査報告

・平成 28 年度の会計および監査報告が実施され、承認されました。

・会員数の減少に対する対策が議題となり、佐藤事務局長から、下記の状況と問題点の説明がありました。

- 会報は 4 月のみ全会員に送付し、会費の督促を兼ねているが大学時代の実家の場所に送付しているケースでは実体を反映できていない点。
- 学生会員制度により学生会員の納入率が高いが、大学院入学時の継続が課題である点。

〔第三号議案〕平成 29 年度の役員／評議員／幹事

・平成 29 年度の役員に、支部長 下村寛士(S51)、副支部長 得井慶昌(S52)、監事 伊東康之(S53)、総務幹事 山本輝哉(H10)、会計幹事 竹田真二(H11)、庶務幹事 工藤伊知郎(H10)、若手交流会幹事 福原忠行(H9)、黒田晋嗣(H11)の就任が承認されました。

・小森前支部長から、退任の挨拶がありました。1 年間のご協力へのお礼と、反省点として、若手の活性化への取り組みが必要であることを述べられました。

・下村新支部長から、就任の挨拶がありました。今後の抱負を述べられるとともに、小森前支部長から引き継いだ若手活性化への取り組みを強化するために、若手交流会幹事を 2 名に増員したことの説明がありました。

〔第四号議案〕平成 29 年度活動計画

- ・平成 29 年度の行事計画の説明があり、承認されました。

〔第五号議案〕平成 29 年度予算計画

- ・平成 29 年度の予算計画の説明があり、承認されました。

〔第六号議案〕米寿、喜寿を迎えられた方

- ・本年は、申告ベースで該当者なしであることが報告されました。



小森支部長



下村新支部長



長尾会長



佐藤事務局長

【講演会】

「IoT 時代の無線通信システムの研究開発、標準化」と題して、京都大学大学院情報学研究科 原田博司教授からご講演いただきました。

○ご講演内容

冒頭に、現在の学生の特性として、ネットの活用、無線を知らない学生が増えていることの紹介があり、特に、無線を知らない学生への対策として、原田研究室では、実学を推奨している点の紹介がありました。

次に、研究の3つの方向性として、広域ブロードバンド、高能率化、IoTに関する取り組みの紹介がありました。広域ブロードバンドの研究としては、VHF帯を利用して、通信距離10km超で、数10Mbpsの通信速度を実現することを目指しており、京都市内で、実証実験を実施していることの説明がありました。高能率化の研究としては、より高い周波数利用効率を実現することを目的に、伝送特性を下げることなく、帯域外漏洩電力を極限まで低減できる波形整形装置を開発していること、および、大学内に、LTEの基地局とコアネットワークを整備し、上記装置を実際の基地局に付加して実験していることの説明がありました。

IoTの研究としては、Wi-SUNシステムを中心として、NICT時代の標準化から、現在の研究に至るまでの取り組みの紹介がありました。IoTの課題として、少なくとも1千万台以上の台数が出ないとビジネスにならないことから、スマートメーターをターゲットに開発を進めたこと、企業に取り入れてもらうために、独自システムではなく、国際標準規格を作っていくことを推し進めたことの紹介がありました。Wi-SUNは、物理層をIEEE802.15.3gで、MAC層をIEEE802.15.4eで標準化したことと、その際の経験談が述べられました。また、Wi-SUNが現在では、東京電力に採用され、1100万台のスマートメーターに採用されているとの紹介がありました。

質疑の中では、標準化に関してのご自身の経験から、世界に通用する人材育成に関する議論が実施されました。原田先生のご意見として、現在の学生はデータ整理／読解力には大きな強みがあり、それを標準化活動の中で世界に発信していくための、「英語力」「胆力」を伸ばしていくことが重要であることが述べられました。

また、IEEEなどの標準化で世界を主導していくためには、日本丸ではなく、グローバル化した京大／洛友会での人の繋がり活用の活用が非常に重要であることが述べられました。



ご講演される原田先生



講演風景

【懇親会】

午後5時より、恒例の懇親会に移りました。懇親会は、下村新支部長の開会のご挨拶の後、長尾会長のご挨拶と乾杯のご発声で始まり、例年通りの幅広い年齢層にわたる多彩な参加者の交流の場となりました。特に、本年は、本部総会との共催となっており、佐藤事務局長をはじめとする現役の教授との意見交換が実施できました。最後に、竹田新会計幹事の音頭により、恒例の「洛友会の歌」および「琵琶湖周航の歌」を合唱し、得井新副支部長の中締めにより閉会となりました。



懇親会での長尾会長ご挨拶



「琵琶湖周航の歌」の合唱

[報告] 洛友会 東京支部 会計幹事 竹田真二 (H11 卒)